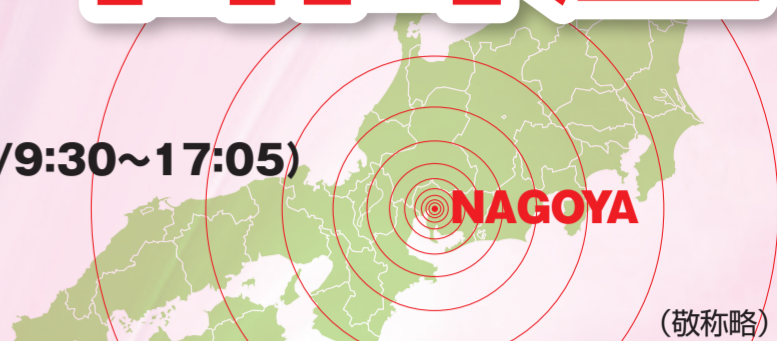


第一線監督者の集い:名古屋

《会期》2022年3月16日(水)・17日(木) 2日間 (16日/9:30~16:40・17日/9:30~17:05)

《会場》シャインズホール+オンラインライブ配信



(敬称略)

1日目 3月16日(水) ※受付9:10~

第一線監督者による活動事例発表

第一線監督者による活動事例発表

9:30 9:35	開会 主催挨拶 インタロダクション
	<p>1 工場を止めるな! ~看護師から脱皮し、人と心を動かすリーダーに~</p> <p>ダイキン工業 滋賀製作所 健康管理室 リーダー 村田里世</p> <p>「社員の健康は自分が守る」との強い決意で入社し10年、その活動は看護師の枠内に留まっていた。今回、超短期間で挑んだ職域ワクチン接種。錯綜する情報に翻弄されながら、何から手を付けて良いかわからず、頭を悩ませる日々。周囲を巻き込み協力を仰ぎながら進める中、看護師の枠から一歩踏み出し成長した事例を紹介。</p>
	<p>2 若手と紡ぐ未来への道 ~自立を促し、自律を目指した人作りへ~</p> <p>ヤマハ発動機 生産本部 製造統括部 浜北製造部 生産課 第2工区 職長 足立匡教</p> <p>監督者で構成する「FC会」グループ活動から参戦。後継者育成カリキュラムを階層別に作り上げていく中で若手育成に着手してきました。今の世代の若手社員を分析し彼等が何を求めるのか、どうアプローチするか、考え方や感覚が異なる世代のギャップに苦戦しながらも真摯に向き合い成長を促してきた取り組みを紹介します。</p>
	<p>3 新天地でみんなが活躍できる 職場づくりを目指して ~バスケが成長させてくれた私と職場~</p> <p>トヨタ紡織 大口岐阜工場 工務部 SX (職長) 市川 僚</p> <p>職長昇任後に切磋琢磨できる職場環境づくりに励む中、社外出向にてメンバーの成長に繋がる自身のスキル向上のチャンスが! 帰任後に自分の考えるギャップにより悩む日々。幼い頃よりやっていたバスケに置き換えメンバーと共に成長した奮闘記。</p>
10:35	質問票記入
10:40	休憩
11:00	1~3発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
11:30	昼食休憩
13:00	<p>4 保守的な職場風土の打破に向けた メンバーとの奮闘記 ~勇気の第一歩が活動を成功に!~</p> <p>豊田自動織機 エンジン事業部 鋳造部 PM室 鋳造保全課 工長 山崎 俊典</p> <p>部下を持った経験のない私が、組長として保全課に異動することに、暫くして上司から、4S構築活動を推進してほしいと頼まれるが、それは過去に進めることが出来なかった難課題でした。活動を進めるにあたり「勇気の第一歩」を踏み出すことができたことで、メンバーのやる気に火を付けた事例についてご紹介いたします。</p>
	<p>5 失望から希望へ! みんなでつかんだ未来への架橋 ~浪花節だよ人生! 職場を変えた新米リーダー奮闘記~</p> <p>ダイハツ工業 池原製作所 京都ボデー課 係長 赤石 崇</p> <p>業務の効率化が求められ、時々刻々と変化する社会環境の中で柔軟に対応し、品質・生産性向上の活動によって成果を上げてきた。しかしながら、国内需要の激減、海外へのシフト等国内生産の減少は、加速する一方で増加する見込みもない中、工場存続に向け人材育成をベースに新たなライン造りに挑戦してきた物語です。</p>
	<p>6 ユニバーサル視点で不具合を出せない ラインを作りたい! いや! 創るんだ!</p> <p>富士フイルムマニュファクチャリング 鈴鹿事業所 第四製造部 ラインリーダー 高良エドアルド</p> <p>「不具合を出さないラインのएस」を目指し、先輩達から改善活動や品質不具合の低減活動を学ぶ事で自身の技能を高めてきました。その経験を基に、自分自身がリーディングして「国籍を問わず」ユニバーサルな感性を大切にして、働きやすい安全な職場環境づくりに取り組んでいる事例をご紹介します。</p>
14:00	質問事項記入
14:05	休憩 & VTR講演
14:25	4~6発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
14:55	【コーディネーターによるガイダンス】
15:00	最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) 投票 休憩
15:10	<p>【第40回記念講演】 ヤマハ発動機の監督者 50年の歩みと次の50年へ</p> <p>ヤマハ発動機株式会社 執行役員 生産技術本部長 村木 健一</p>
16:10	【全体総括】「発表企業の重点課題テーマまとめ」 《コーディネーター》日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター センター長 茂木 龍哉
16:25	【最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) の発表・表彰】
16:40	明日のご案内 閉会

2日目 3月17日(木) ※受付9:10~

第一線監督者による活動事例発表

第一線監督者による活動事例発表

9:30 9:35	開会 インタロダクション
	<p>1 人材育成へのマインドチェンジ! ~仕事は楽しく、皆が助け合う職場を目指して!!~</p> <p>日本ガイシ エレクトロニクス事業本部 金属事業部 製造部 素材グループ 素材係 作業長 石田 真也</p> <p>入社以来「仕事は楽しく!」が自分のモットー。元々ポジティブな面は持っているが、仕事が出来ない・効率が悪く作業をしているメンバーなら、年長者であろうか叱っていた。しかし、作業長になってわかった「助け合う事の大切さ」「人材育成の難しさ」。「仕事は楽しく!皆が助け合う職場を目指して!!」現在も奮闘中の事例を紹介させていただきます。</p>
	<p>2 ごりゃいかん! チームの意識を立て直せ ~管理体制の強化と作業者意識改革~</p> <p>大同特殊鋼 星崎工場線材室線材加工係 工長 濱崎 聖広</p> <p>鋼材二次加工部門において受注増に対応し、各設備フル生産を行ってきた。しかし、フル生産の中、品質リスクが発生してしまいその原因が新たに設置した設備であった。それらの失敗を糧に、全設備対象で管理体制の強化と作業者意識改革を行った活動の紹介です。</p>
	<p>3 女性の働きやすい職場に私が変える!! ~女性リーダーの想いを現場に反映~</p> <p>アイシン パワートレインカンパニー 岡崎工場 第1加工製造室 S-X-BV/B加工課第1係 リーダー 松山 純子</p> <p>男性ばかりが従事してきた重要な作業を女性にも任せられる事に...。しかし、そこは、男性から見たら当たり前の作業でも、女性から見たら”3K作業(きつい・汚い・危険)”。この意識や感性のズレに男性に気付けて貰い、ズレの改善に全員で取り組む事に拘り「女性社員に優しい職場作り」に挑戦した事例を紹介します。</p>
10:35	質問票記入
10:40	休憩
11:00	1~3発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
11:30	昼食休憩
13:00	<p>4 テーマパーク体制で職場を笑顔に! ~メンバーと向き合い、明るく楽しく安心して働ける職場づくり~</p> <p>オリンパスメディカルシステムズ 日の出工場 製造 チームリーダー 鈴木 重徳</p> <p>製品移管で規模が縮小した工程を集めたチームのリーダーに就任。仕事が減り不安や停滞感が溢れる状況から、「話を聴く」をモットーにメンバーと誠実に向き合い共感し、新たな目標に向け明るい気持ちに変えていく。テーマパークのキャストのようにメンバーが笑顔で働ける職場にするため取組んできた事例を紹介します。</p>
	<p>5 誠意傾聴。基本深耕。愚直実行 ~仲間の信頼を得て不可能を可能にする、それが九鬼流~</p> <p>ヤマハミュージックマニュファクチュアリング ピアノ生産部 部品生産グループ 7班 職長 九鬼 秀吾</p> <p>根っから不器用な私が、なぜ無謀ともいえる高い目標を達成できたのか? 最初は愚直に自ら行動し手本を示した。しかし仲間についてはこなかった。どうしたらいい? 誠意をもって仲間の声に耳を傾け、意見を取り入れ、結果が出るまで挑戦し続けた。一つの成功体験が次の意欲に繋がった。気づけば、仲間との強い絆ができていた。</p>
	<p>6 改善と連想談義の習慣化 ~職場活性化を目指し、監督者の拘り活動~</p> <p>トヨタ自動車 車体生技部 課長 大村 好広</p> <p>自らの成長の礎となった改善活動。監督者となる過程でも大切に取組んできましたが、業務拡大時に仕事の成果ばかりを重んじた結果、改善を通じた学びや成長は影を潜め停滞。大いに反省した監督者が「改善」と「連想談義」の習慣化に拘り、日々の改善とQC活動にフォーカスを当て、人材育成と職場活性化に取り組んだ事例を紹介。</p>
	<p>7 人の判断に依存した工程からの脱却 ~やるべき事はいつもひとつ!~</p> <p>岩手村田製作所 久慈製造課 リーダー 明内 永世</p> <p>同時多発的に届く多くの設備トラブル通知や作業指示の組み合わせから、優先度の高い作業を人が迷いながら判断し選びながら作業している「人の判断に依存した工程」。そんな工程から、設備情報と標準作業の融合による判断のシステム化で脱却を図り改善へ繋げた事例を紹介します。</p>
14:20	質問事項記入
14:25	休憩 & VTR講演
14:45	4~7発表者との質疑応答 参加者による質問票をもとに発表者との質疑応答を行います。
15:25	【コーディネーターによるガイダンス】
15:30	最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) 投票 休憩
15:40	<p>【第40回記念講演】 トヨタ生産方式の原点と 第一線監督者の役割</p> <p>トヨタ自動車株式会社 TPS本部 本部長 尾上 恭吾</p>
16:40	【全体総括】「発表企業の重点課題テーマまとめ」 《コーディネーター》日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター センター長 茂木 龍哉
16:55	【最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) の発表・表彰】
17:05	閉会

第一線監督者の心構え

- 一、相手に伝わる言葉で表現すること
- 一、一人一人と語り合い、向き合うこと
- 一、部下を信じて任せ、挑戦させること
- 一、結果ではなく、行動を褒めること
- 一、誠実かつ謙虚で信頼されていること
- 一、目的志向で論理的思考を持っていること
- 一、自分を磨き、人の手本となる行(考)動をとること

沿革

本大会は、1982年(昭和57年)当時の日本能率協会中部地域評議員会・議長である故・大野耐一氏(当時 豊田紡織(株)相談役)のご尽力を得て、第1回目を名古屋で開催いたしました。以来40年間にわたり、各社で活躍される第一線監督者の方々による職場活動事例の発表と情報交流の場として毎年実施しております。

開催のご案内

《企画委員長》



株式会社 豊田自動織機
人事部 主査

桑野安史氏

記念すべき第40回大会を開催するにあたり、全国の監督者の皆様におかれましては、VUCAの時代、新型コロナウイルス(変異株)流行や温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震と言った自然災害などに対処しつつ、一致団結して難局に立ち向かわれることと存じます。

昨年の集いは、コロナ禍の影響を受けながら、リアル会場とオンラインライブ配信を組み合わせた、ハイブリッド形式での開催でした。

ご聴講いただきました参加者の9割を超える方々より、各社の発表事例が役に立つとのアンケート結果をいただきました。オンラインライブ配信につきましても、ご好評をいただき、特に忙しい管理職や現場を離れにくい従業員、時間に制約のあるパートタイムで働く皆様、移動時間がかかる遠隔地の皆様など、より幅広い方々にご参加いただくことができ、コロナ禍という厳しい環境ではありましたが、今後につながる新たな気づきを得た機会でもありました。

日々、テレワーク、リモートによるコミュニケーション、AR(拡張現実)技術の導入など、デジタルツールによる様々な変革が目覚ましく進んでいます。

しかしながら、製造現場においては、実際に担当する場所に行かなければ、我々の業務は成立しない。こうした現場が、日本に無数にあることは言うまでもありません。

確かに、今後、工場のデジタル化は進み、遠隔で、現地に行かずとも生産現場での業務が滞りなく進められる世界に向かっていくのかもしれない。しかし、その中で、監督者が現場で働く中間の安全を確実に守りながら、どのように品質や生産性に優れた業務を遂行し、仲間を支援するかその思いや役割は変わらないはず。

労働人口の減少にともない、様々な勤務形態や国籍の仲間たち、高齢者や女性活躍などにしっかりと対応していく重要性が増えています。また、デジタルネイティブである若い世代とのコミュニケーションでも、これまでにない工夫が求められています。そうした多様な人材を活かしていく監督者は、多くの課題に直面していますが、それを乗り越えていくための基本は、部下である前に人として接する事であり、まずは、相手を知る事、聞いてあげる事だと思います。

「上、三年にして下を知り下、三日にして上を知る」と言う作者不明の名言があります。どちら側で見るかはそれぞれのお立場で感じ取っていただければ良いのですが、私は、「多くの部下を抱える監督者は、繁忙中にも関わらず、一人ひとりに目を配り、声を掛け、面倒見を重ね、自分の代りとなる次期監督者候補を見だし、着実に育成していくこと」が重要であると考えます。

世の中のニーズや物のつくり方は変化していきませんが、これからは変わらず、人間性尊重の精神の下、自らの考え方や思いを伝え、決断力・リーダーシップ・行動力を備えた人材を育成していかなければなりません。

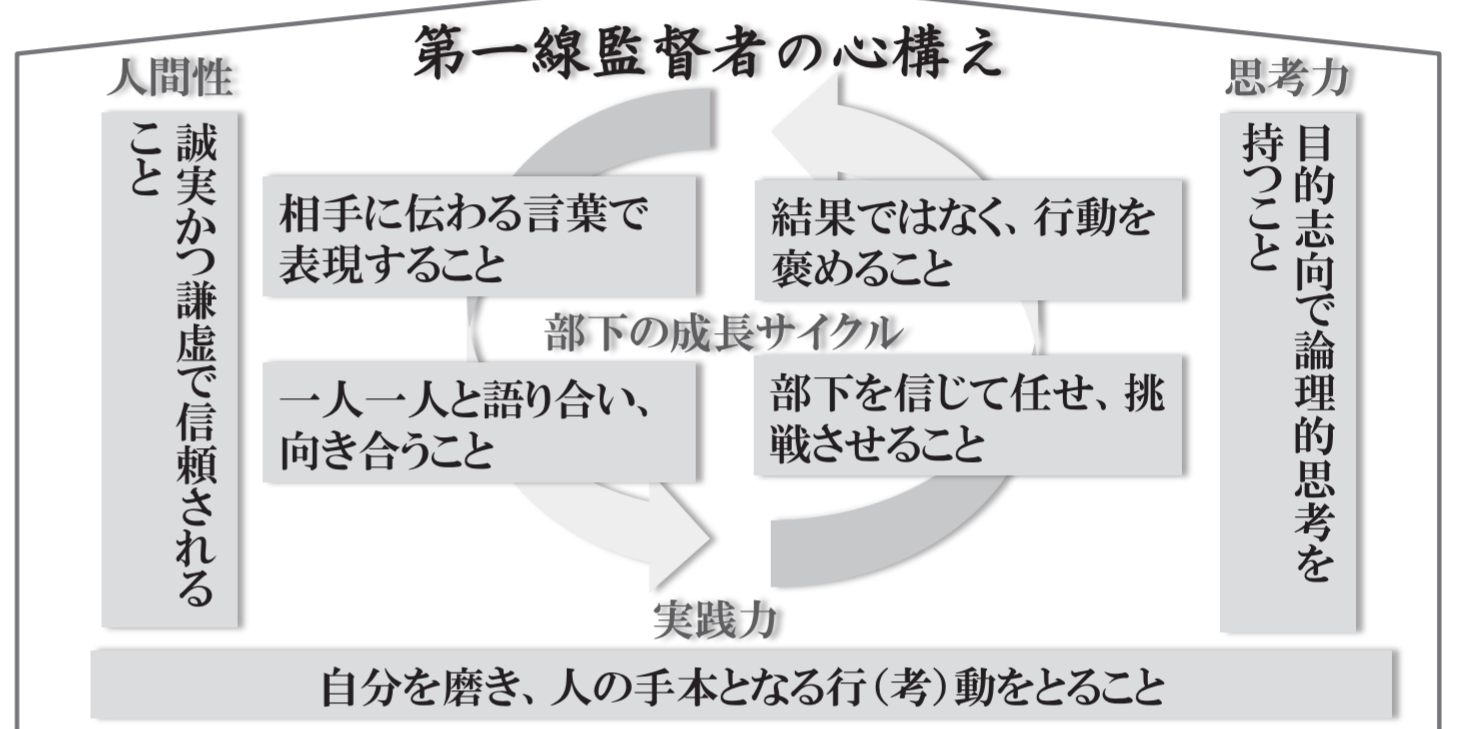
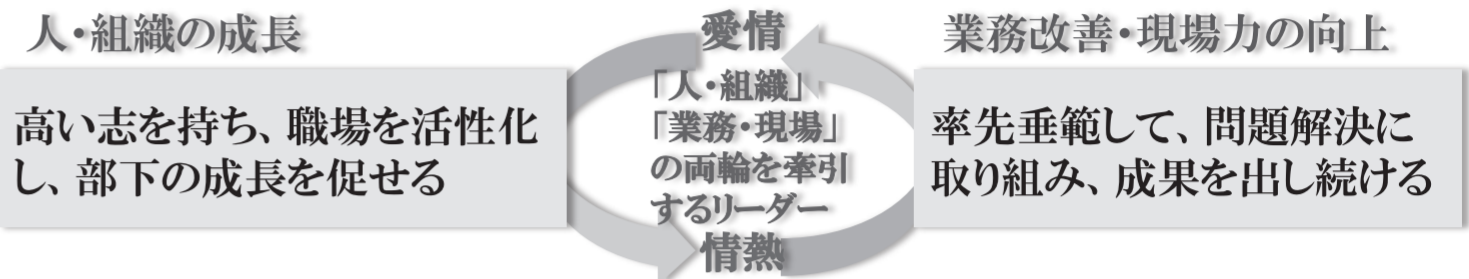
新型コロナウイルス感染拡大により一変した世の中において、人と人との接触が難しい状況がありますが、この発表会が、職場に居る仲間(人)としっかりと手を携え、モノづくりを通じて人の役に立ち、この困難を乗り越える原動力となる監督者に、「つくる物は遣えども人を扱う監督者として、同じの悩みを抱え頑張っているんだ」という気づき、勇気を与えられる機会となれば幸いです。

それぞれの持ち場での皆様のさらなるご活躍をお祈りいたします。

当日の様子



第一線監督者の使命



参加申込規定

参加料(税込)

《会場参加》

	参加料(税込)	
	一般社団法人日本能率協会会員	1日
	2日間	50,600円/名
上記会員外	1日	30,800円/名
	2日間	57,200円/名

《オンライン参加》

	参加料(税込)	
	一般社団法人日本能率協会会員	1日
	2日間	151,800円/ID
上記会員外	1日	92,400円/ID
	2日間	171,600円/ID

※1 IDで複数人で視聴可能 ※同日で複数端末で同時ログイン不可
 ※1 IDにつき、最優秀事例賞1票(申込者に投票用WEBサイトを案内)

■キャンセル規定

開催15日前～開催8日前(開催当日を含みます)……………参加料の10%
 開催7日前～前々日(開催当日を含みます)……………参加料の30%
 開催前日および当日……………参加料全額
 電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万が一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。
 (注)キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

■オンライン参加のご案内

●オンラインへのお申し込みの方には開催1週間前を目安に、視聴に必要な操作方法と配信アクセス先をご案内いたします。
 テキストはPDFでダウンロードしていただけます。
 ●貴社の通信環境による、画像・音声の不具合が生じた場合に対して、小会は責任を負えません。事前にご了承ください。
 ●本催しの資料及び画像配信映像などの録画、録音、撮影の複製並びに二次利用は一切禁止です。

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。
 詳細はHPをご覧ください。 <http://school.jma.or.jp/entry/index.html>

■個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

■会員制度のご案内

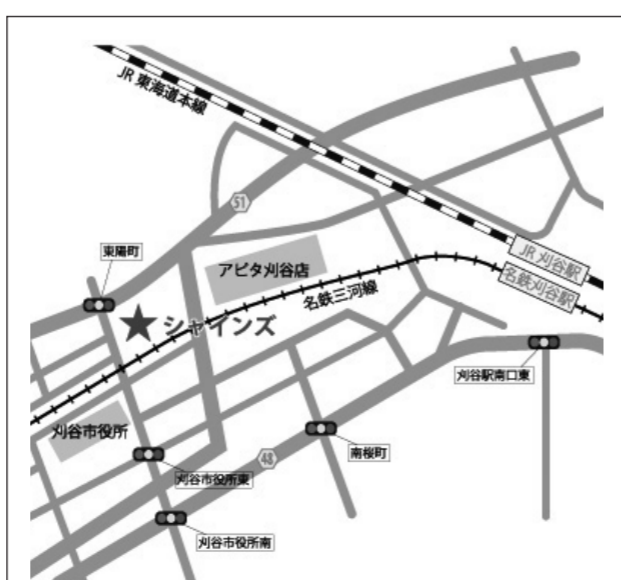
一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会に是非入会をご検討ください。

■プログラム内容に関するお問い合わせ先(企画担当)

一般社団法人日本能率協会
 「第一線監督者の集い：名古屋」事務局
 〒1105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
 TEL: 03-3434-1410(直通)

■会場案内

シャインズホール
 〒448-0842 愛知県刈谷市東陽町2丁目18番地
 TEL: 0566-24-3348



交通のご案内
 最寄り駅/JR東海道線「刈谷駅」南口より徒歩7分
 駐車場/当館地下1階2階に完備

第40回 第一線監督者の集い：名古屋 企画委員会

(敬称略 所属名五十音順)

- 委員長 株式会社豊田自動織機 コーポレート本部 人事部 主査 …… 桑野安史
- 主査 株式会社日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター センター長 …… 茂木龍哉
- アドバイザー 家田一美

運営委員

- 株式会社アイシン 生産人材育成部 主幹 …………… 中野 一生
- オリンパス株式会社 製造教育 シニアマネージャー …………… 柴 史也
- 株式会社クボタ 生産技術本部 KPS推進部 KPS推進統括課 …………… 鈴木 誠二
- グローリー株式会社 生産本部 本社工場 生産技術一部 主幹技師 …………… 丹下 賢造
- サンデンホールディングス株式会社 CSE本部 モノづくり改革部 …………… 飯島 努
- ダイキン工業株式会社 空調生産本部 滋賀製造部 ものづくり支援専任部長 …………… 小倉 博敏
- 大同特殊鋼株式会社 技術企画部 技術企画室 副主任部員 …………… 木村 重利
- ダイハツ工業株式会社 本社(池田)・京都(大山崎)工場 池京製造部 部長 …………… 満留 寛
- 株式会社デンソー 品質管理部 部付・上級キャリアエキスパート …………… 藤本 高宏
- 株式会社東海理化 生産調査部 企画/総括室 担当 …………… 豊田 智一
- トヨタ自動車株式会社 トヨタ技能者養成所 所長 …………… 深津 敏昭
- トヨタ紡織株式会社 技能育成部 階層教育推進室 階層教育G グループ長 …………… 南里 匡一
- 日本ガイシ株式会社 品質経営統括部 マネージャー …………… 川口 定
- パナソニック株式会社 マニファクチャリングイノベーション本部 企画部 企画推進課 主幹 …………… 川津 博明
- 富士フイルムマニファクチュアリング株式会社 事業推進部 生産革新グループ グループ長 …… 櫻木 善仁
- 株式会社村田製作所 モノづくり強化推進部 次長 …………… 四宮 祐一
- ヤマハ株式会社 楽器・音響生産本部 企画管理部 管理グループ …………… 諸橋 享
- ヤマハ発動機株式会社 生産管理部 部長 …………… 松本 和幸

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

パソコン(各種検索サイト)から
 ダイレクトで



セミナーID(半角数字)

JMA10031

検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
 JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
 TEL:03(3434)6271